

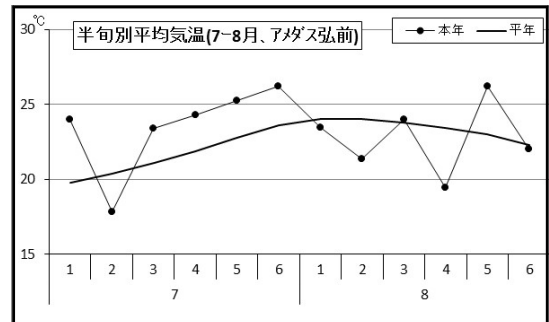
# 農作物の生育状況（8月31日現在）

中南地域県民局地域農林水産部

## 1 気象

8月1～30日の平均気温は平年に比べ0.7℃低かった。降水量は平年比160%、日照時間は平年比94%となった。

8月5、15、16、24日に大雨・洪水警報が出されたが、作物被害はなかった。



## 2 水稲

出穂最盛期は平年並の8月5日となった。

稈長は平年並、穂長はやや長め、穂数はやや少ない。刈取りは「青天の霹靂」が9月14日頃、「つがるロマン」は9月19日頃から始まる見込みである。

## 3 大豆

葉数、分枝数は平年並となっており、病虫害の発生も少なく、生育は概ね順調である。

## 4 りんご

弘前市独狐のふじの肥大(横径)は7.5cmで平年並(7.5cm)となっている。未希ライフ、きおうが収穫されており、つがるの収穫が始まった。

## 5 ぶどう(スチューベン)

着色日は平年(8月21日)より4日早い8月23日で、生育は良好である。

## 6 もも(川中島白桃)

平川市新館の肥大(横径)は8.5cmで平年(8.1cm)を上回っている。収穫は平年より3日早い8月29日から始まった。

## 7 トマト・ミニトマト

6月下旬の日照不足と7月下旬～8月上旬の高温から、前年に比べて単収は1割程度減少の見込みとなっている。

品質は良好で、販売価格が高価で推移していることから、販売額は例年並を確保できる見込みである。

## 8 高冷地野菜

だいこんの収穫作業は順調に行われている。7月上旬の低温により、肥大が劣り、収量は前年に比べ2割程度少なめとなっている。

秋にんじんは、葉数が平年を上回っており、生育は概ね順調である。

スイートコーンの収穫は、例年並みの8月10日頃から始まった。8月中旬の風雨により一部で倒伏が見られている。

## 9 トルコギキョウ

6月定植の作型では、例年より5日程度早い8月20日頃から収穫が始まった。